



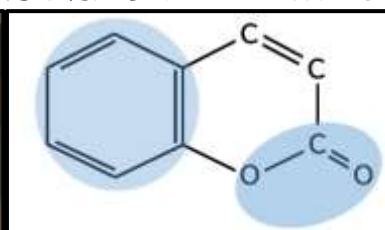
科学部の研究が九州大会で最優秀賞を受賞しました

2月12日(土)にオンラインで「令和3年度九州高等学校生徒理科研究発表大会沖縄大会」に佐賀県代表として参加しました。大会では、ポスターを使った「ポスター発表」とパワーポイントを使った「口頭発表」を行いました。オンラインで発表を行い、審査の結果「ポスター発表」と「口頭発表」の2部門で九州1位となる「最優秀賞」を受賞しました。

受賞した研究は、「分子構造から考えるクマリンの発芽抑制」というテーマで科学部2年生が研究に取り組んできました。研究では、サクラの葉に含まれているクマリンという物質に種子の発芽を抑制する効果があることに注目し、クマリンの分子構造の内どの構造に種子の発芽を抑制する効果があるかを調べました。具体的には、クマリンの分子構造の一部を化学変化させ、種子の発芽を抑制する効果が残っているか実験を重ねて調べました。研究の結果、クマリンの分子構造の中で種子の発芽を抑制している部分を特定することに成功しました。



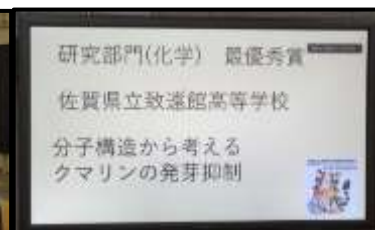
ポスター発表の様子



クマリンの重要な構造



口頭発表の様子



最優秀賞の受賞

＜発表した生徒の感想＞

今回、たくさんの興味深い研究がある中で最優秀賞を頂けて、とても嬉しかったです。発表は緊張しましたが、日々の研究の成果が本番で発揮できたと思います。この経験を今後の研究に活かしていきたいと思います。

理数科の3年生が東京大学農学部の学校推薦型選抜で合格しました

理数科3年生の松尾倫之介君は、1年生の時に九州大学未来創成科学者育成プロジェクト(QFC-SP)に選抜され、2年生の時にBio&Lifeコースで「高樹齢スギ人工林の非破壊腐朽診断」をテーマに研究に取り組みました。151年生スギの腐朽診断を応力波伝播速度測定という手法で調査し、63%の高い確率で腐朽しているという結果を第132回日本森林学会大会高校生ポスター部門で発表しました。この経験がきっかけで、将来は高齢林の水源涵養機能について研究したいと思うようになり、その夢を達成するために東京大学農学部の学校推薦型選抜を受験し見事合格しました。

松尾君は、10月に本校SSH事業で実施したグアム大学とのオンライン交流において研究内容を英語で発表し、グアム大学の学生と英語でディスカッションも行いました。

今後もSSHでの取り組みを活かして一人でも多くの生徒が夢をかなえて欲しいと思います。

＜松尾君のコメント＞

3年間通して様々な活動に参加したことが評価されました。この結果は、活動を学校が後押ししてくれたおかげです。SSHの厚いサポートと応援で夢の実現に1歩前進したと感じています。